

第3回 我孫子市放射線対策会議 会議概要

【場 所】 市長応接室

【日 時】 平成23年7月28日(木) 14:40～16:30

【出席者】 放射線対策会議委員(市長、副市長、教育長、水道局長、企画財政部長、健康福祉部長、子ども部長、環境経済部長、都市部長、消防長、教育総務部長) 放射線対策会議幹事(保育課長、手賀沼課長、治水課長、公園緑地課長、警防課長、教育委員会学校教育課長)(水道事業管理者記載漏れ)

(はじめに、7月27日放射線講演会)

- ・ 参加者約430人。
- ・ 器材の準備が間に合わず、インターネット中継が出来ず、急遽ホームページで周知。この件に関する問い合わせは、1件のみ。事情を伝え、ホームページ上で録画を公開する旨を伝え、了解頂く。
- ・ ホームページ上で公開する録画は、講演部分のみ。

(報告事項)

(1) 保育園における積算線量データの確認

(保育課)

- ・ 5園で測定を実施した。
- ・ つくし野保育園は、前回1週間での年間推計が0.343ミリシーベルトだったが、今回推計結果では0.318ミリシーベルトと低下。
- ・ 広報の掲載に合わせ、ホームページでも1回/2週で公表。広報8月16日号で、5園分(8月4日までの測定分)を公表。学校は、夏休みがあつて測定期間が短いので、広報10月1日号から公表。
- ・ 各園保護者からの照会については、各園単位で随時公表。
- ・ 線量計の表示について、マイクロシーベルト表示が可能かどうか確認する。(手賀沼課担当)

(2) 市内の空間放射線量測定について

(定点測定結果、東葛6市測定結果—手賀沼課)

- ・ 4月20日、6月1日、7月12日～13日と事故以来3回の草刈り実施にもかかわらず、手賀沼公園が数値が上昇傾向にある。(東葛放射線対策協の専門家に照会のこと)
- ・ NaIシンチレーションサーベイメータが先週納品。
- ・ 7月26日の久寺家あけぼの公園で測定した簡易測定器と東葛放射線対策協のスペクトルサーベイメータの数値を比較すると、0.1マイクロシーベルトほど簡易測定器の方が低い。

- ・ 久寺家あけぼの公園は、高いので追跡調査（公園緑地課担当）
- ・ 住民から要望がある公園については、どこかの段階で測定をしていくこととする。（天王台東公園、五本松運動広場）
（保育園・幼稚園における放射線量測定について－保育課）
- ・ 根戸、つくし野、並木保育園で砂の除去、一部土削り取りを実施し、線量低減。
- ・ 並木、つくし野保育園で積算線量計を7月13日～20日装着。年間推計0.343ミリシーベルト／年間登園294日。
（小・中学校測定結果－学校教育課）
- ・ 校庭に比べ砂場が若干高くなっている。校庭のデータについては、校庭中央プラス4隅測定結果の平均としている。
→保育園の園庭は規模が小さいので、園庭中央の測定結果を公表。
- ・ 白山中、久寺家中が他の学校に比べ高い。
- ・ 校庭と砂場と各学校3か所に限定し、各学校の校長から要望のあった箇所を測定。学校内の側溝などが高い。
- ・ 毎時1マイクロシーベルト超のところは、立ち入り禁止とし、側溝ならば掃除、狭い箇所ならば表土の除去の措置をとっている。集めた表土等については、学校内で穴を掘り保管。保護者の協力を得て、表土の除去等をしているが、保護者で対応できない部分について業者委託の検討。（学校教育課で検討）
（公園測定結果－公園緑地課）
- ・ 市内を500mメッシュで区切り、45箇所を3班編成で7月29日測定予定。
- ・ 天王台西公園、手賀沼公園などは草刈り・集草後も、効果が出ていないところもある。専門家の意見で対応したい。
（砂場の砂入れ替え）
- ・ 毎時0.4マイクロシーベルト超の砂場は14か所について、8月お盆過ぎから表層10センチメートル除去し、公園内に埋設。このあと、毎時0.3マイクロシーベルト超の7箇所について、取り掛かる予定。
→表層から保育園は50センチメートル、学校は30センチメートルを基本に砂を除去する。
- ・ 数値の高いところは、柔軟に対応する。
（芝の根ごと除去の実験について）
- ・ 天王台西公園で実験を試みようとしたが、段差が生じるので、安全上問題がある。立入禁止の措置（ロープなどで）をとり、実験をする。（公園緑地課担当）

（3）放射線講演会について－手賀沼課

- ・ 講演内容の資料配布があるのか、講義内容の文字化は可能か、確認。（手賀沼課担当）

(その他)

- ・ 保護者の協力を得て清掃などをしたところでは、当該学校への放射線苦情が減少。学校によっては保護者の協力を得ることが困難な側溝が長いところもある。このような箇所についても業者委託の範囲とする。
- ・ 私立保育園、幼稚園について、公表を前提に積算線量計を市から貸し出す。そのために、新たに20台追加発注。納品され次第、貸与。
(学校給食の放射能汚染牛肉使用について)
- ・ 我孫子第一小の7月12日の給食で、汚染された稲わらを食べた可能性のある岩手県産の牛肉を児童一人あたり10グラム使用。
- ・ 7月25日に使用が判明直後、該当学校保護者に通知し、今のところ問い合わせはない。教委では、問屋に保管されていた同じ部位の検査を依頼中。検査結果判明次第、公表予定。